

原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続特殊前兆 続報 前兆関係再検討 CH20・CH21の前兆終息待ち

長期継続前兆No.1778は、最終段階である認識です。8月中旬以降に発生の可能性も検討され、継続出現しているCH20（微弱）とCH21特異状態前兆の終息を確認すべく観測を続けておりますが、まだ終息確認できません。

誤差を考慮しても、本日終息しないと、現状認識での経験則に合いません。

このことから、早い場合の可能性として検討した前兆関係認識が間違っていたと思われる。

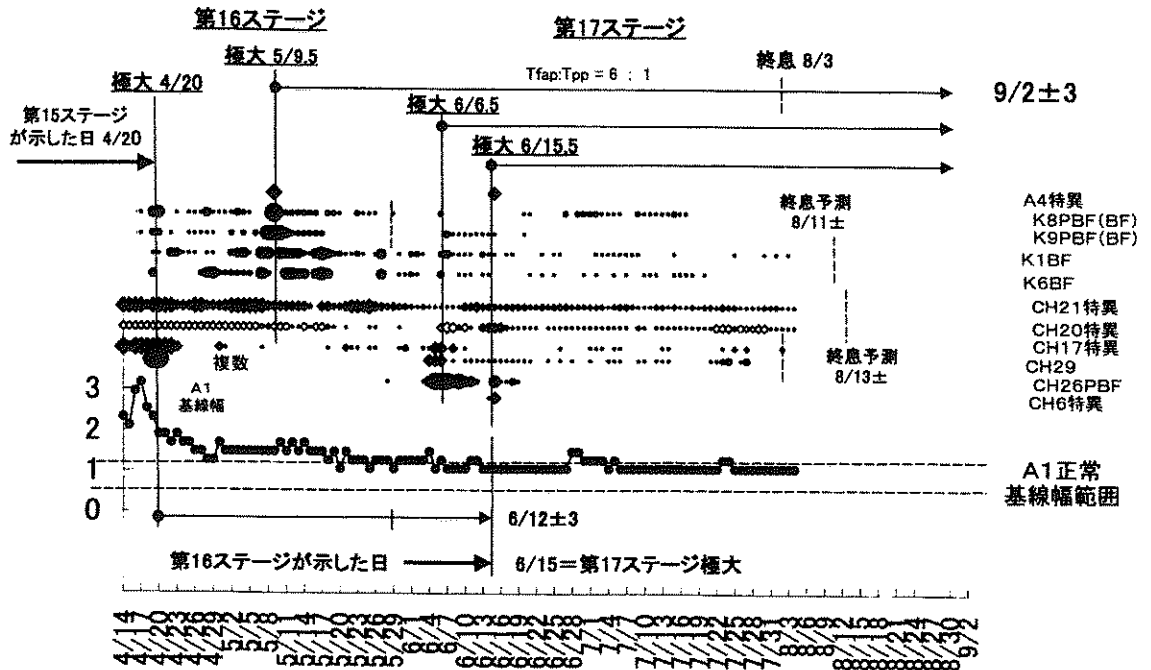
右下の同一関連活動前兆としか考えられない火山帯近傍活動前兆

S型=火山帯近傍地殻地震前兆

N型=複数日連続出現の場合は噴火の可能性有

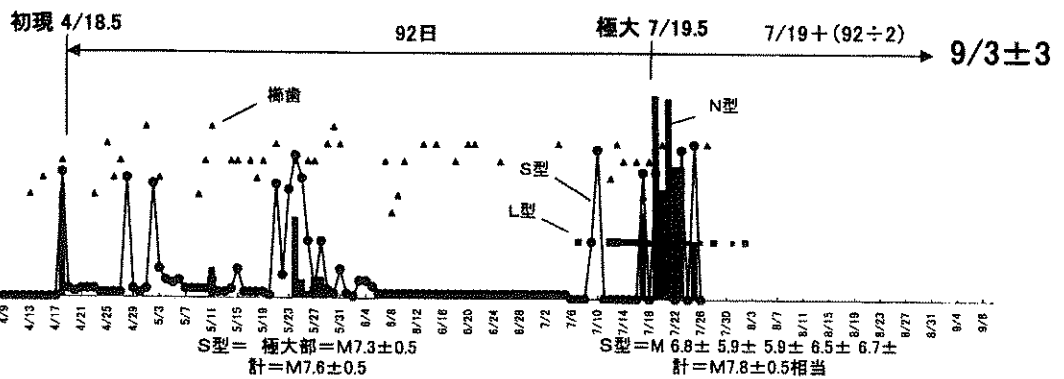
の関係も、通常の地震前兆関係経験則では、08月20日以降は算出できなくなります。唯一群発経験則（初現～極大：2：1）で、9月3日±が計算できます。

No.1778前兆の方は、CH20, 21 が継続出現中のみで、他に顕著前兆はありません。CH17は5/9 極大に関係していませんが、8/3 終息とした場合は9月2日±が出ます。仮に火山前兆から計算される9月2～3日±が正しい場合は、右上図中に記した、8/11±、8/13±に終息が確認できる筈です。実際の終息を観測して正確な発生日を求めます。



火山帯近傍地殻地震・火山前兆

S型=火山近傍地殻地震前兆(変動値面積=規模を示す)
N型=顕著に複数日出現の場合=噴火に至る可能性有



- ◆推定領域：右図太線領域内=大枠推定
斜線領域=可能性考え易い推定域
ㄉ 斜線=参考推定領域
- ◆推定規模：M7.8 ± 0.5
(地震発生前後に近隣火山活発化、最大では噴火の可能性も否定困難。推定領域正しい場合は白山付近の可能性有)
- ◆推定時期：前兆終息確認後計算予定
- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
- ◇推定発生時刻：午前9時±1 (又は午後6時±3)